

## 平成24年度歯と口腔の健康づくり事業（県関係事業）

## ◆方向性1 連携づくりの推進計画の推進

## ① 宮城県歯科保健推進協議会

目的：宮城県歯科保健構想の具体的展開を図り、県民一人ひとりの健康状態やライフステージに対応した歯と口腔の健康づくりを推進するために必要な施策に関する事項について検討する。

内容：会議の開催

## ② 歯科保健推進アドバイザー設置事業

目的：歯科保健事業の指導、助言を得ることにより、事業実施の円滑化と実効性を確保し、もって歯科保健水準の向上を図る。

内容：歯科保健事業に関し、専門的な見地からの指導、助言を受けることのできるアドバイザー制度を設置する。（アドバイザー5名指名）

## 8020運動推進特別事業

## ③ 8020運動推進特別事業検討評価委員会

目的：8020運動推進特別事業に関する事業の円滑な推進を図る。

内容：事業を検討、評価するための検討会の開催

平成24年度 第1回 9/6（木）開催、第2回 H25.1～2月に開催予定

## ◆方向性2 乳幼児及び学童期・思春期対策

妊産婦期・乳幼児期：『乳歯むし歯の予防・口腔清掃の習慣づけ』

学童期・思春期：『永久歯むし歯と歯肉炎の予防』

1. 妊産婦期から乳幼児期にわたる定期的な歯科健康診査体制の推進
2. 乳幼児の発育段階を踏まえた歯と口腔の健康づくりに関する普及啓発の推進
3. 母子保健や子育て支援に従事する者の資質の向上
4. 子育て支援に従事する関係機関の連携づくりの推進
5. フッ化物応用等による効果的な歯科口腔保健対策の普及
6. 生涯にわたり実践に生かせる歯科口腔保健教育，歯科口腔保健活動の推進
7. 歯科口腔保健活動のための学校及び地域の連携の推進

## ① 幼児に関する歯科保健行動調査 【新規】

目的：基本計画に基づき、幼児の歯の状態が全国に比して低い状態にあることから、3歳児健康診査時にアンケートを実施し、幼児に関する歯科保健行動を把握し、データを収集、分析する。

内容：3歳児健康診査時に保護者向けにアンケートを行い、子どもに対する日頃の歯科保健行動について調査を行う。

## ② 歯つらつファミリーコンクール

内容：コンクール（母と子の部、ファミリーの部）の実施，知事表彰，記念品の授与

主体：県，歯科医師会の共催 ※歯科保健大会において表彰

## ③ 在宅歯科医療連携室整備事業（平成23年度～平成25年度）

目的：在宅歯科・口腔ケアを受ける者，家族等と歯科医療機関を結ぶ調整窓口「みやぎ訪問歯科相談室」を設置することにより，地域における在宅歯科・口腔ケアの推進を図る。

内容：1)みやぎ訪問歯科相談室の運営 2)在宅歯科診療機器の整備

主体：宮城県歯科医師会へ委託

④ 妊娠中からの歯科保健モデル事業 【子育て支援課事業】

内容：実施希望の市町村において妊婦歯科検診，歯科講話を行う。

また，ポスター作成，配布など歯科保健に関する広報も実施する[県内全域]。

主体：宮城県歯科医師会へ委託

⑤ 学校保健研修事業 【スポーツ健康課事業】

目的：学校保健研修会、養護教諭研究協議会において歯科保健分野の研修を実施

内容：「歯と口腔の健康づくり月間」（11月）に、学校保健研修会（歯と口の健康づくり）を新たに開催し、学校における歯科保健指導の推進や教職員の資質向上を図る。

主体：宮城県教育委員会（宮城県歯科医師会及び東北大学大学院歯学研究科と連携）

⑥ 児童生徒定期健康診断事業 【スポーツ健康課事業】

目的：県立学校に対し、法令に基づく定期健康診断を実施し、学校生活が円滑に行われるよう適切な保健管理、保健指導を図る。

内容：上記健康診断に加え、第7期学校保健調査を県内公立学校の児童生徒対象に実施予定。

主体：宮城県教育委員会

⑦ 生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業 【スポーツ健康課】

目的：子どもの生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくりの効果的な推進を図る。

内容：推進校を指定し、健康づくりを展開していく。

主体：宮城県教育委員会

**8020運動推進特別事業**

⑧ 口腔機能育成者資質向上化事業

目的：乳幼児の歯科保健水準の向上を図る。

内容：乳幼児期の歯科保健指導に従事する保健師等を対象に効果的な保健指導の習熟のための講習会を開催する。

主体：東北大学大学院歯学研究科へ委託予定

⑨ 4，5歳児むし歯総合対策強化事業

目的：6歳臼歯が生えてくる4歳，5歳児のむし歯対策を強化するため，保育所等における歯科健診の実態を把握し，分析を行う。また，保育士等を対象にした研修会を開催し，幼稚園・保育所等での歯科保健推進の重要性を普及啓発する。

内容：保育所・幼稚園への歯科健診の実態調査及び講習会

主体：東北大学大学院歯学研究科へ委託予定，保健所等も連携

⑩ 乳幼児むし歯予防総合教室

目的：乳幼児の歯の健康状態が全国に比して低い状態にあることから，乳幼児むし歯罹患率の高い地域において，乳幼児期からの歯と口腔の健康管理の必要性の普及・定着の推進と，地域の支援機能の活性化を図る。

内容：子育て世代の親睦の機会・場所を設け，その中で，乳幼児の歯と口腔の健康管理に関する相談や情報提供，ケアの実演等を実施する。

主体：宮城県歯科衛生士会へ委託（歯科医師会と連携）

⑪ 小・中学生体験歯磨き教室

目的：早い時期から歯と口腔の健康づくりの大切さに対する理解を促進する。

内容：県内の小・中学校の児童，生徒を対象としてブラッシング指導をはじめ，口腔内カメラ，顕微鏡，ビデオ上映等を活用した健康教育を行う。

主体：宮城県歯科医師会へ委託

## ⑫ 学校歯科保健推進者養成講習会

目的：地域の学校歯科保健の推進役となる教職員を養成する。

内容：1) 児童生徒の口腔管理・安全対策・健康教育に関する研修会を行う。  
2) 各学校保健会等を通じた情報交換、情報伝達を行う。

主体：宮城県歯科医師会へ委託

## ◆方向性3 成人期（青年期・壮年期・高齢期）の対策

青年期：『歯周疾患の予防と口腔清掃の徹底』

壮年期：『歯周疾患対策と歯の喪失予防の推進』（壮年期）

高齢期：『口腔機能の維持・回復、口腔衛生の維持』（高齢期）

1. 成人を対象とした歯科健康診査の機会の確保とその推進
2. 歯周疾患予防に効果的な方法の普及啓発の推進
3. 地域保健と職域保健との連携による支援体制づくり
4. かかりつけ歯科医をもつことの推進
5. 成人の歯と口腔の実態把握及び口腔の健康が維持できる体制の構築
6. 全市町村での歯周疾患検診の実施、受診率の向上
7. 介護や介護予防に従事する者への支援体制の構築
8. 施設入所者や通所事業所利用者等の歯と口腔の健康管理の充実

### ① 歯と口腔の健康実態調査 【新規】

目的：今後の歯科保健対策の基礎資料とするため、20歳から84歳までの抽出された県民を対象に、健診票を送付し、登録歯科医において口腔審査（歯科健康診査）を実施する。健診票送付とあわせ、リーフレットにより歯と口腔ケアの重要性について普及啓発を行う。

主体：宮城県歯科医師会及び東北大学大学院歯学研究科へ委託

### ② 入所施設における歯と口腔の活動状況等調査【新規】

目的：老人福祉施設及び障害者施設の入所者に対する歯と口腔の健康状況を把握し、歯科保健計画の指標となるデータを収集するとともに、課題を明確にする。

内容：宮城県内の老人福祉施設（入所）、障害者施設（入所）計228施設に対するアンケート  
調査期間 平成24年10月

主体：宮城県健康推進課

### ③ 健康増進事業による歯周疾患検診等の実施

目的：市町村が実施する歯周疾患検診に要する費用の補助

主体：市町村（補助事業）

### ④ 在宅歯科医療連携室整備事業 [再掲]

### ⑤ 被災者健康支援事業（歯科口腔保健支援事業）

目的：被災生活が長期化している仮設住宅等の入居者（主に高齢者）に対して、口腔の健康状態の改善及び誤嚥性肺炎の予防を目的として、歯科医師、歯科衛生士による歯科口腔保健指導、歯科口腔保健相談を実施する。

主体：市町村及び市町村からの要望を受けて実施する法人等（補助事業）

平成24年度：宮城県歯科医師会、医療法人くさの実会

### ⑥ 口腔ケアのパンフレット配布 【長寿社会政策課事業】

内容：口腔ケアの普及啓発のため歯科診療所にパンフレットを配布

## 8020運動推進特別事業

### ⑦ 市町村成人歯科検診モデル事業

目的：成人期以降の歯科保健水準を向上させるため、歯周疾患検診未実施市町村においてモデル事業を実施し、市町村における歯周疾患検診の取組を促進する。

内容：特定健診時等に併せて簡易なスクリーニングを実施する。

主体：宮城県歯科医師会へ委託、加美町で実施（歯科衛生士会と連携）

## ◆方向性4 要介護者・障がい児（者）の対策

1. 障がい児（者）の歯と口腔の健康づくりのための地域支援機能の充実・連携の促進
2. 障がい児（者）が利用できる歯科医療サービスの情報提供の促進
3. 施設入所者の歯科医療機関による歯と口腔の健康管理の充実

- ① 在宅歯科医療連携室整備事業 [再掲]
- ② 入所施設における歯と口腔の活動状況等調査【新規】 [再掲]
- ③ 口腔ケアのパンフレット配布 【長寿社会政策課事業】 [再掲]